



トウモロコシの作付を見直してみませんか？

購入飼料の価格が高騰しています。こんなときこそ栄養価や嗜好性の高いトウモロコシの作付を見直してみませんか？

トウモロコシの単収アップには、「品種選び」「栽培管理」「適期収穫」が重要です。ここでは、それらのポイントをいくつかご紹介しますので、ぜひご活用ください。

品種選びの基本

- 県央、県南の比較的温暖な地域では、収量がとれる**中晩生品種**、県北や高標高地域では、登熟を第1に考え、**早生品種**を選択することをおすすめします。
- 作付を拡大して、収穫作業の集中を避けたい場合は、**早生、中晩生品種を組み合わせ**て収穫時期をずらしたり、**緑度保持の良い品種**を選びましょう。
- 県内での栽培性、収量性に優れた「**認定品種**」を利用しましょう。(詳細は裏面)

栽培のポイント

- 播種時期 <4月下旬～6月上旬(中晩生:4月下旬 早生:5月下旬が適期)>
 - ※ 早期播種の方が、低温環境下でゆっくり生長するため、結果的に**多収**になります。
- 雑草防除 <土壌処理が基本です！>
 - ・ 播種直後～発芽前に土壌処理剤を散布し、きっちり鎮圧しましょう。
 - (イネ科雑草:ラッソー乳剤 等 ・広葉雑草:ゲザプリムフロアブル 等)
 - ※ 雑草の繁茂は、収量の低下だけでなく、品質の低下や家畜の中毒にもつながります。適正な雑草防除を心がけましょう。

収穫適期はミルクラインで！

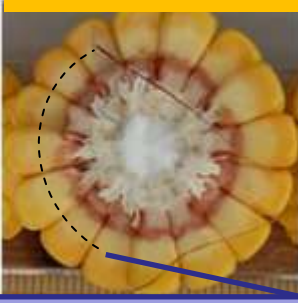
刈り遅れると、収量の低下や栄養価の減少につながります。

収穫適期「黄熟期」はミルクラインで判断します。

写真の点線のように、黄色と白い(淡い黄色)部分の境目がミルクラインです。

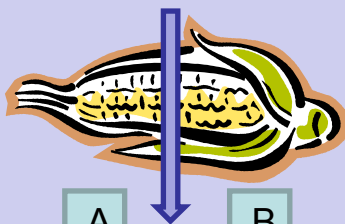
このミルクラインが粒の半分程度までできていれば収穫適期(黄熟期)です。

<黄熟期の実>



ミルクライン

実を半分に折って、A側の断面を確認する。



実がくぼんでくるのも目安です。

県の認定品種を知っていますか？

認定品種とは、栃木県における栽培性と収量性に優れた品種のことです。

トウモロコシは、品種の改廃が早いので、認定品種を選ぶことで安定的に高い収量を得ることができます。

今年度の試験結果をもとに、認定品種の収量と特徴をご紹介します。

認定品種の特徴を利用して、安定的な収量を確保しましょう。

<平成19年度 品種選定試験の結果（認定品種）>

区分	品種名 (商品名)	収量		実の割合 %	倒伏	病気		緑度 保持
		生草 kg/10a	乾物 kg/10a			ごま 葉枯	すす 紋	
早生①	36B08 (パイオニア106日)	3,772	1,190	60.9	◎	△	○	○
	35Y65 (パイオニア108日)	4,346	1,378	63.7	○	△	○	○
	34N84 (パイオニア108日)	4,320	1,401	61.9	◎	△	○	○
	KD640 (ゴールドデントKD640)	5,040	1,509	55.9	◎	○	◎	○
早生②	SH4681 (スノーデント115)	5,120	1,465	61.7	◎	○	○	○
	KD670 (ゴールドデントKD670)	5,238	1,637	49.3	◎	○	◎	◎
	ZX4101 (Z-Corn118)	5,093	1,665	55.9	◎	◎	◎	◎
	ZX7605 (Z-Corn120)	5,496	1,622	54.4	◎	◎	◎	◎
中晩生	31P41 (パイオニア120日)	5,991	1,883	54.6	◎	◎	◎	○
	32K61 (パイオニア122日)	6,074	1,854	51.5	○	○	○	○
	31N27 (パイオニア125日)	5,970	1,678	49.1	◎	◎	◎	○
遅まき	31N27 (パイオニア125日)	5,970	1,678	62.0	◎	◎	○	○

(注) 播種日：早生①、②、遅まきは5/29、中晩生は4/24
 収穫日：早生①、②は9/13、中晩生は9/3、遅まきは9/26
 倒伏、病気：◎極強 ○強 △普通
 緑度保持：◎長い ○普通

問い合わせ：酪農試験場酪農技術部草地飼料研究室 TEL:0287-36-0768